

## 研修プログラムの概要

プログラムの名称：国立病院機構埼玉病院臨床研修プログラム 小児科・産婦人科コース  
プログラム責任者：小児・周産期センター部長 上牧 勇

### プログラムの目標

現在の日本社会で求められる医師として、プライマリーケアが実践できるようになるために、基本的臨床能力を修得する。具体的には、小児科または産婦人科、内科系で一人日当直しても、日常よく遭遇する疾患の初期診療や重症度に応じた適切な対応ができる臨床レベルに到達し、研修終了後は円滑に後期研修に進むことができる診療能力の修得を目標とする。

### 小児科・産婦人科プログラムの特色

小児科または産婦人科を主科とする。主科以外の必修科目として内科系 25 週間、救急科、麻酔科を各 6 週間、精神科 4 週間とする。小児科を選択した場合、交流科として産婦人科 8 週間、外科 4 週間、産婦人科を選択した場合、交流科として外科 8 週間、小児科 4 週間が必修となる。救急については、救急外来での 6 週間の研修及びオリエンテーション後 2 年間の日当直（月 4 回として、96 回～104 回で 3 か月間に相当）で研修する。2 年目は 4 週間の地域医療研修を診療所等で実施し、20 週間を研修医自身が希望する選択科目に充てる。研修は主科から開始する。2 年目主科研修期間内に慶應大学病院などの専門病院での研修も考慮される。全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を、共通プログラムとして研修する。

定員：1 学年 4 名、2 学年合わせて 8 名

開始日：毎年 4 月 1 日 終了日：毎年 3 月 31 日

### 小児科を主科とした場合の研修日程の 1 例

1 年目	小児科 10 週間		内科系 5 科 25 週間			麻酔科 6 週間	外科 4 週間	救急科 6 週間
2 年目	精神科 4 週間	地域 4 週間	産婦人科 8 週間	小児科 12 週間	選択科目 25 週間			

### 産婦人科を主科とした場合の研修日程の 1 例

1 年目	産婦人科 10 週間		内科系 5 科 25 週間			麻酔科 6 週間	小児科 4 週間	救急科 6 週間
2 年目	精神科 4 週間	地域 4 週間	外科 8 週間	産婦人科 12 週間	選択科目 25 週間			